

本町・上本町寒施行仲間文書

本文書群は総点数五十二点で、年代は大正九年（一九二〇）が最も古く、昭和六十年（一九八五）まで書き留められた帳簿類や領収証類が中心である。古文書は、一括して木箱（縦一一・五cm×横一七・三cm×奥行き二六・五cm）に納められている。木箱には、「仲間長箱」と墨書され、蓋裏書から大正十年（一九二一）に新調されたことがわかる。また、裏書には、仲間人名として十名の名前が記されている（うち七名は墨で抹消されており、退会したことをあらわす）。この木箱は、一年ごとに当番の家（当家）で保管され、長年、仲間のあいだで引き継がれてきた。

さて、寒施行とは、季節が本格的に寒くなる一月下旬から二月にかけて、高槻旧城下町にあたる本町・上本町から津之江地区にある稲荷神社（通称「アジャリの森」）に集団参拝する行事である。そのほか、周辺の稲荷神社や地蔵の祠、墓にも小さな握り飯や油揚げをお供えするものであった。

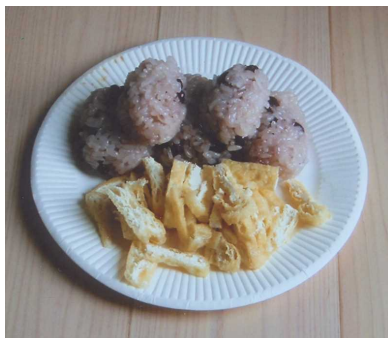
昭和三十年代頃まで、大阪府下の各地で行われたものとされ、地域によっては「野施行」とも呼ばれている。一般的に稲荷神に関わりの深い「狐」のいそうな所に油揚げや握り飯を置いて歩くことが作法になっている。現



仲間で引き継いだ文書箱

在、本町・上本町でこの行事を行う家が一軒になったため、行事は継続しながらも、引き継いだ古文書はこのたび当館へ寄贈された。本文書群から、大正から昭和時代にかけて行われた行事の当家や参拝の手順、費用などを知ることができる。

寒施行の仲間の行事と運営方法は、毎年の支出やその年の当家名などを書き留めた「野施飯帳買物」（文書番号1ほか）の帳簿が詳しい。仲間人名は、橋本松之助・中西浅吉・藤井末吉・橋本宗太郎・橋本巳之助・中島治三郎・平田私一郎・辻井伊之助の八名が記されている。各帳簿を年



現在のお供え物

代順に追ってみてみると、仲間は八〜十軒で構成されていたことがわかる。

毎年の仲間の行事は、一月の寒施行にはじまり、寄合で饗応する二月〜三月の春祭、八月の土用祭の年三回行われた。記載内容から、春祭と土用祭には、参拝は行わず、仲間同士で会食をし交流する場となっていたようである。



稲荷神社（アジャリの森）

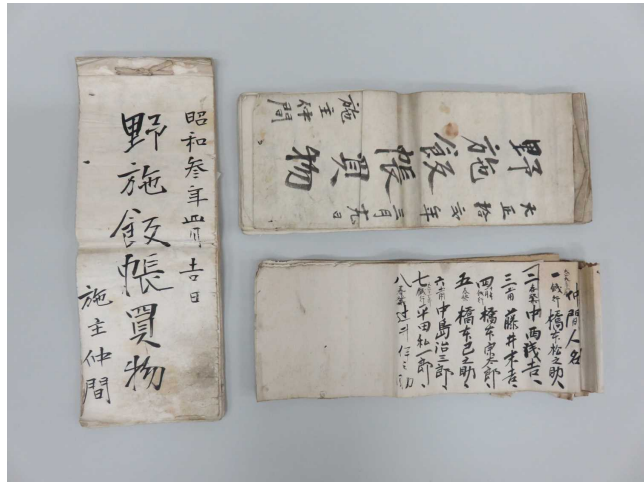
毎年、仲間の十軒（休会などで八軒の時が多い）が順番で当家をつとめ、当家は必要なお供え物や饗応の材料の購入、町内の家々からの進物（お供え物）・祝儀（上げ銭）の勘定などを行った。

寒施行に際し、町内の約三十軒からは、米や金銭が供えられる（「進物日嘉恵帳」（文書番号2））。このことから、仲間十軒だけの行事ではなく、町内でも知られたもので、仲間らが代表して参拝する意味があつたと考えられる。

「野施飯帳買物」（文書番号1ほか）をみると、買い物で多い購入されるものは一月の油揚げ・蠟燭・酒、三月は鯛・昆布・酒、八月は小豆・いも・油揚げ・酒などの品目である。行事の費用は、町内からの祝儀金で一部まかない、残りの多くは、仲間軒数で均等割りして負担した。

なお、寒施行は、年代が古い帳簿には「野施」「餞行」「かん餞行」と表現され、昭和十七年頃では「寒供養」とも呼んでいる。

つぎに文書群のなかで最も多いのが、供養順路を書き留めたものである



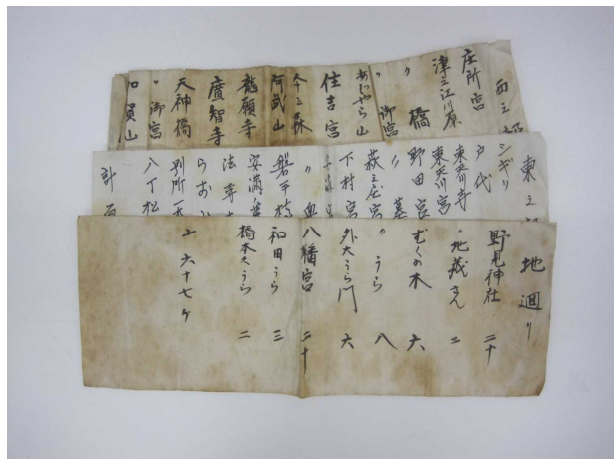
（文書番号1ほか）野施飯帳買物

（文書番号26～36、39～46）。これらの文書は、場所とお供え物の個数、合計の数などを簡条書きしている。寒施行は、三ルートに分かれて子どもも含めて二～三人ずつで廻りました。

本町・上本町周辺を「地廻り」といい、野見神社や八幡大神宮、むくの木大明神、地藏の祠などを

廻るもので、六十七個のお供え物を用意した。東へは、東天川・野田・安満から萩庄の神社や墓などに一五六個、西へは、庄所から津之江に入り、稻荷神社（「あじやら山」と記す）で参拝、さらに西に進み、阿武山から折り返して廣智寺・上宮天満宮へと二二〇個のお供え物を持ち廻った。各所では数個のおにぎりを置いたため、各文書の記載を合計すると、一回の施行で総数約四〇〇個にも及ぶ。なお、残念ながら、文書からは所要時間や道筋など詳細は不明である。

本文書は、寺社が実施するものではなく、民間で継続されてきた民俗宗教行事を知る貴重な文書群である。（西本幸嗣）



（文書番号26・27・31）供養順路

本町・上本町寒施行仲間文書目録

文書番号	一括状況	文書名	年号	月	日	西暦	差出	宛名	形状	数量	法量	整理番号	備考
1	—	野施飯帳買物	大正9	1	14	1920	施主仲間	—	横帳	1	12.0×32.5	07	・1丁目表に「仲間人名」も記載あり
2	紐	進物日嘉恵帳	大正9	1	14	1920	施主仲間	—	横帳	1	12.6×32.0	09-01	・表紙一部破損
3	—	妙見講(積立簿二付)	大正9	1	—	1920	講中	—	縦帳	1	25.3×17.3	11	・破損大・講員は毎月20銭ずつ積立
4	—	[米札カ]	大正10	—	—	1921	—	—	一紙	1	31.3×4.0	33	・大正十年撰津国三島郡大冠村大字中小路産米の米・裏に「西巳宗利久」とあり
5	—	[木箱]	大正10	1	14	1921	仲間人名 竹林秀吉、橋本松之助、橋本宗太郎(他7名内6名墨抹)	—	木箱	1	26.0×17.0×11.5	00	・蓋表書「仲間長箱」・蓋法量 27.0×17.0×5.0
6	—	[米札カ]	大正10	—	—	1921	—	—	一紙	2	31.3×4.1	44	・大正十年撰津国三島郡大冠村大字中小路産米の米札2枚・印刷物他に記載なし
7	—	野施飯帳買物	大正12	3	19	1923	施主仲間	—	横帳	1	13.2×33.5	04	・1丁目表に「仲間人名」の記載あり
8	紐	野施飯帳買物	大正12	1	10	1923	—	—	横帳	1	12.0×31.5	09-02	
9	—	野施飯帳買物	昭和3	4	吉日	1928	施主仲間	—	横帳	1	12.3×33.0	05	・1丁目表に「仲間人名扣」とあり
10	—	野施飯帳買物	昭和12	1	20	1937	—	—	横帳	1	12.5×33.5	16	
11	—	領収書(かまぼこ6枚代210円領収二付)	昭和33	1	18	1958	株式会社 三笠屋	上様	一紙	1	8.8×12.0	45	・裏二メモ書あり

12	—	野施飯帳買物	昭和34	1	22	1959	施主仲間	—	横帳	1	12.5× 33.5	10	・昭和60年までの記述あり
13	—	領収書(一級壺本代 700円領収二付)	昭和42	1	21	1967	吉川商店(印)	—	一紙	1	10.5× 12.8	41	
14	—	[メモ書]	昭和43	1	12	1968	—	—	一紙	1	11.4× 8.0	35	・カレンダーつきのメモ に「小豆275円」とあり
15	—	領収書(1級1本代750 円領収二付)	昭和43	1	19	1968	吉川商店(印)	—	一紙	1	10.8× 12.3	46	
16	—	領収書(つけもの2ヶ 代370円領収二付)	(昭和)51	1	11	1976	紀州屋漬物店	上様	一紙	1	8.8× 12.4	36	
17	—	売上傳票(うすあげ 15売上二付)	(昭和)51	1	11	1976	三木豆腐店	上様	一紙	1	12.5× 8.8	37	
18	—	領収書(金1539円領 収二付)	(昭和)51	1	11	1976	清食品高槻店(印)	上様	一紙	1	8.9× 12.5	38	・品名なし
19	—	領収書(金200円領収 二付)	(昭和)51	1	11	1976	スーパーニュー高槻 内肉の大阪屋	上様	一紙	1	8.8× 12.6	39	・品名なし
20	—	領収書(金960円領収 二付)	(昭和)51	1	11	1976	高槻市永楽町(株)丸 常蒲銚点 高槻店	上様	一紙	1	8.8× 12.5	40	・品名なし
21	—	記(上割木、柴代金 領収二付)	—	1	8	—	—	橋本様	一紙	1	14.5× 11.0	34	
22	—	[領収書]	—	1	17	—	ミはや(カ)	仲間様	一紙	1	14.4× 21.2	42	・酒二本代領収二付
23	—	記(にんじん等六 十銭領収二付)	—	1	18	—	八百勝	上様	一紙	1	14.4× 21.0	43	

24	—	〔金銭封筒一括〕	—	—	—	—	—	—	紙幣	1	10.0×6.0	01	・一円紙幣1点・五十銭紙幣1点・小袋に十円貨幣7点・五円貨幣1点・一円貨幣2点
25	—	地廻り(野見神社二十、同地蔵さん二等書上二付)	—	—	—	—	—	—	折紙	1	24.4×32.4	02	
26	折込	東之部(シギリ三、戸代三等書上二付)	—	—	—	—	—	—	折紙	1	12.4×33.2	03-01	
27	折込	西之部(庄所の宮十五、津之江川原七等書上二付)	—	—	—	—	—	—	折紙	1	24.0×33.0	03-02	
28	—	西之部(庄所宮十五、津之江川原七等書上二付)	—	—	—	—	—	—	折紙	1	24.0×29.0	06	
29	—	東之部(シギ地三、戸代三等書上二付)	—	—	—	—	—	—	折紙	1	24.0×8.0	08	・後欠
30	—	〔東天川宮、萩之庄宮等書上〕	—	—	—	—	—	—	一紙	1	24.0×31.5	12	・整理番号3-01、3-02における地名の一部の記載あり
31	—	地廻り(野見神社二十、同地蔵さん二等書上二付)	—	—	—	—	—	—	折紙	1	24.0×33.0	13	
32	—	東之部(シギリ三、戸代三等書上二付)	—	—	—	—	—	—	折紙	1	24.0×33.0	14	
33	—	西之部(庄所の宮十五、津之江川原七等書上二付)	—	—	—	—	—	—	折紙	1	24.0×33.0	15	
34	—	〔シギリ三、戸代三等書上〕	—	—	—	—	—	—	一紙	1	12.0×32.0	17	・「東之部」に該当力・破損あり
35	—	供養順路(東)	—	—	—	—	—	—	折紙	1	24.0×32.5	18	・シギリ堤防戸代、東天川宮等二付

36	—	東之部(シギジ三、戸代三等書上二付)	—	—	—	—	—	—	折紙	1	12.0×32.5	19	
37	—	[金銭覚書]	—	—	—	—	中山、橋本久、橋本伊(他3名)	—	折紙	1	24.3×26.0	20	・裏に「平田、藤井、中島」等名前の書上あり
38	—	[鯖、こんにやく等諸色書上]	—	—	—	—	—	—	折紙	1	24.0×16.3	21	・後欠・虫損あり
39	—	西之部(庄所宮十五、津ノ江川原等書上二付)	—	—	—	—	—	—	折紙	1	24.0×32.5	22	・インクにじみあり
40	—	地廻り(野見神社二十ヶ、地藏さん二ヶ等書上二付)	—	—	—	—	—	—	折紙	1	24.3×26.7	23	・後欠(24の前部分カ)
41	—	[断簡]	—	—	—	—	—	—	折紙	1	24.3×6.6	24	・「メ七十ヶ」とあり・23の後部分カ・前欠
42	—	西之部(庄所宮十五、津之江川原七等書上二付)	—	—	—	—	—	—	折紙	1	24.0×33.0	25	
43	—	[野田宮、同墓、萩之庄等書上]	—	—	—	—	—	—	折紙	1	24.0×25.0	26	・前欠・後欠・東之部二該当カ
44	—	東之部(口キリ三ヶ、東天川寺三ヶ等書上二付)	—	—	—	—	—	—	折紙	1	12.0×33.0	27	
45	—	西之部(庄所御宮十五ヶ、津之江川原七ヶ等書上二付)	—	—	—	—	—	—	折紙	1	23.0×32.0	28	
46	—	東ノ部(シギリ三、東天川寺三等書上二付)	—	—	—	—	—	—	折紙	1	23.0×32.0	29	
47	—	[メモ書]	—	—	—	—	—	—	一紙	1	23.9×32.7	30	・計算式やあげ、酒代等の書上あり

48	—	[鯖、コンニャク等諸色書上]	—	—	—	—	—	—	折紙	1	24.2×16.3	31	・前後欠
49	—	[小豆、大根等諸色書上]	—	—	—	—	—	—	折紙	1	24.0×32.8	32	・鉛筆書き
50	—	[封筒]	—	—	—	—	—	—	封筒	1	22.5×8.5	47	・表に「三拾九円 四十一年度残」など記載あり・封筒のみ
51	—	[断筒一括]	—	—	—	—	—	—	一紙	1	7.0×23.9他	48	・断筒6点あり
52	—	[白紙]	—	—	—	—	—	—	一紙	1	36.0×55.0	49	・下に敷いていた紙カ